
『良友』画報と言語—身体の言説を中心に

孫 安石／村井 寛志／鈴木 陽一（名誉教授）

本共同研究グループは、中国・上海で発行された『良友』画報を素材に、2021年度から2023年度までの予定で、「『良友』画報と言語—身体の言説を中心に」というテーマの共同研究をスタートした。コロナ禍がやっと終わりをむかえたことに鑑み、2023年8月6日（13時～18時）、神奈川大学みなとみらいキャンパス11階の会議室を会場として人文学研究所の日中関係史共同研究と共催で打ち合わせを行った（以下、報告題名を参照）。

- 1 孫安石（神奈川大学）—上海の英字新聞The China press
- 2 石川照子（大妻女子大学）—ジェンダー研究と中国
- 3 関智英（津田塾大学）—日中戦争研究と中国
- 4 渡辺千尋（東洋大学）—中国の日本人商業会

議所研究

- 5 菊池敏夫（元神奈川大学教授）—上海のデパート研究
- 6 森平崇文（立教大学）—上海の演劇について
- 7 田島奈都子（青梅市立美術館）—上海の図像・ポスター
- 8 呉孟晋（京都大学）—上海の美術研究
- 9 包慕萍（大和大学）—上海の建築について
- 10 樊怡舟（広島大学）—上海の教育

これらの上海研究は、『良友』画報とも密接な関連があり、『良友』画報の研究再開に向けても活発な意見交換ができた。上記、研究会の開催情報などはすべて研究会HPの<http://liangyou.jugem.jp/>に内容を公開している。

（文責 孫安石）